

地域の環境を整えて
社旗課題を乗り越える

蓬沢いきいきサロン
猪狩 理沙 氏

蓬沢いきいきサロンでは、2025年問題で起こりうる問題を見据えて、将来の子供たちへの負担を少しでも軽減させたいという思いから環境を通して出来ることに取り組んでいます。

活動の一つであるウォーキングゴミ拾いは、楽しみながら健康作りを行っています。他にも学生さんと協力しSDGsを学ぶゲームを作成し、イベント内で体験してもらう機会作りも行いました。

これからも地域の環境を整え、子供や孫世代が暮らしやすい未来になるように取り組んでいきます。



山梨県・長野県における
オオブタクサ花粉飛散状況
地理的要因との関係

北杜市立甲陵高等学校SSH 分析班
今井 美杷 氏、佐藤 奈津実 氏、
荻原 紗彩 氏、並木 柚奈 氏

北杜市立甲陵高等学校SSH分析班では、山梨県の花粉症有症率は全国1位となっており、花粉症対策に寄与を図ることを目的に研究を行いました。

結果、生息地を正確に把握すること、その場所を避けること、駆除により個体数自体を減らし在来生物の成育を促進することが花粉症対策、ひいては外来種の駆除による生物多様性の保全に有効であると考えられます。また、花粉の滞留しやすい環境、植生管理の不足、大気汚染との相互作用が大きく関わっており、花粉症の発症は単に花粉の飛散量だけでなく、都市環境の特性によっても大きく左右されることを明らかに出来ました。



白鳳会の歴史・
活動・今後について

白鳳会
清水 利彦 氏

白鳳会は、1924年（大正13年）韮崎市で創設されました。以後、地域山岳会として登山活動はもとより山岳の研究開発と保護、安全登山指導、遭難防止と救助等、幅広い活動をしています。

近年は白鳳会が管轄としている鳳凰三山に高山植物の鹿等による食害が発生し、環境庁、韮崎市役所および観光協会と協働で稜線等に鹿柵を設置しました。

しかし、鹿柵設置、撤去は最低でも一泊二日の作業となり、会員8名以上での作業なので参加する会員の動員が大変という課題もあります。事業実施維持のためにも多くの会員の協力を求めます。



環境カウンセラー協会の
活動紹介と課題

山梨環境カウンセラー協会
城野 仁志 氏

環境カウンセラーは、環境問題に関する専門的知識や豊富な経験を持ち、市民や事業者等の環境保全活動に対する助言（カウンセリング）を行う人材として登録されています。

現在、山梨県では27名のカウンセラーが登録されており、雨水タンク、緑のカーテン等、それぞれの分野で幅広い環境啓発活動を行っています。

設立から27年が経過し、年配の会員の割合が高くなってきているという課題があり、若手の環境活動家の方が環境カウンセラーに登録し、かつ協会の活動にも参画して頂くことに向けた取り組みに力を入れていきたいです。

きれい甲斐

No.104 March 2025

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。

環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし
事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県自然共生推進課内
TEL.055-223-1634 FAX.055-223-1781 ✉shizen@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ パートナーシップやまなし 検索
発行責任者●企画委員長 志 村 宏 司
R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています

やまなし環境活動推進ネットワークフォーラムを開催しました



環境パートナーシップやまなしでは2月23日（日）に「第26回やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を（公財）やまなし環境財団と共催で開催しました。

当日は約60名の方にご参加いただき、午後1時15分から午後4時30分まで環境保全に向けた取り組みについて活発な情報交換が行われました。

今回のフォーラムの様子をご紹介します。

開会挨拶

主催者を代表して、環境パートナーシップやまなしの坂本政彦会長と（公財）やまなし環境財団の齊藤武彦理事長から挨拶がありました。

環境パートナーシップやまなし

坂本　政彦　会長



本日のフォーラムは、県内の企業・団体・学生の皆さんが取り組んでいる環境保全活動についての発表をいただき、この機会を通じて、情報交換やネットワークの形成に積極的にご活用頂くとともに、連携することを通じて皆様の環境保全活動の更なる推進が図られることを期待しております。

（公財）やまなし環境財団

齊藤　武彦　理事長



このフォーラムも今回で26回目を迎えました。長きにわたり実施できていますのも、皆様の御協力の賜であり、改めて感謝申し上げます。

日頃からの活動によって、本県の環境活動は支えられておりますことから、引き続きご尽力くださいますようお願い申し上げるとともに、皆様方の益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

若宮賞表彰式

（公財）やまなし環境財団では、県内各地で優れた環境保全活動を継続して行っている団体や個人を「若宮賞」として表彰します。この賞は、県民の皆さんの自主的な環境保全活動を大きく育て、その取り組みを広く紹介することを目的に定めたもので、「若宮賞」という名称は、本財団の設立に多大な御協力をいただきました 故 若宮きよの様 のお名前を記念したものです。今回、受賞されましたのは、昭和町押越区いきがいクラブと白鳳会の2団体です。

【昭和町押越区いきがいクラブ】

40年以上の長期にわたり、地域において清掃活動や花の植栽等の環境美化に努めるとともに、地域の見守り活動等を通じ、住みやすい街づくりに貢献されています。

【白鳳会】

甘利山を始めとする茅ヶ岳や鳳凰三山など、韮崎市の山岳資源の保護活動のほか、清掃及び登山道の整備を実施するなど、環境保全に貢献されています。



「ポスターセッション」が開催されました

県内で環境保全に取り組む団体・企業・学生・行政が活動をまとめて作成したポスターの発表を行い、その後、参加者と交流するポスターセッションを実施しました。

（公財）やまなし環境財団の鳥屋尾健運営委員にコーディネーターを務めていただき、交流の時間では、発表者と参加者相互の活発な情報交換が行われました。

発表者として、ご参加いただいた若宮賞受賞団体、助成金交付団体、企業、行政の12団体の皆様を発表順にご紹介いたします。



もったいない倶楽部

クロダ（株）

大森 真理 氏 天野 麻弓 氏 小野田 実加 氏

クロダ（株）では、11,400件の各家庭を定期的に訪問し、無料で古紙や缶などの資源の回収を行っています。

回収された古紙は、オリジナルのトイレットペーパーにリサイクルされ、会員の方々へ還元をしています。

リサイクルすることによりゴミの削減をし、資源の保護と環境保全へ貢献していきます。また、地域密着型で対応することにより、地域住民との信用・信頼関係が成り立ち、地域住民の安否確認をすることにも繋がっています。



身近な「森づくり」と「緑化」を支援します

（公財）山梨県緑化推進機構

依田 勇二 氏

（公財）山梨県緑化推進機構では、「緑の募金」を活用して、森林ボランティアや地域の団体が行う森林の整備や緑化推進などの活動に助成するほか、緑の少年隊の育成を支援しています。

また、「緑の基金」を活用して、緑化の普及啓発等や企業・団体による森づくりを推進する「やまなし森づくりコミッション」を支援しています。

これからは「緑の募金で進めよう　SDGs」をスローガンに、「緑の募金」による様々な森づくり、緑づくりなどの緑化運動を展開していきます。



心が動く体験をしよう

エシカルメディアtaneto

岩崎 舞 氏

tanetoは、山梨県内の環境に配慮した取り組みを紹介するサイトです。2024年2月にサイトを公開してから、イベント企画、ワークショップの開催等、研究機関や大学等と連携した気候変動のアンケート調査など、様々な取り組みを行ってきました。

年齢や職業、バックグラウンドが違う出会いがあると、一人では気づかなかった可能性に気づく事が出来る。立場を超えて語り合える場づくりを中心に、共に学び、成長できるプラットフォームを育んでいきます。



甲府盆地をジオパークに！

甲府ユネスコ協会

廣瀬 集一 氏

甲府ユネスコ協会は、設立から76年間の歴史が刻まれています。今年の活動目標は、1.甲府盆地をジオパークに登録しよう 2.平和と人間の尊重、友愛などの理想に一歩でも近づけるようユネスコスクールの国際性とSDGsの活動 3.U-smile困難な子供たちの支援活動です。

ユネスコスクール活動を通して世代を超えて国を超えて「心の中に平和の砦を築く」ことを話していきたいと思います。

北杜市立甲陵高等学校SSH　AI班では、花粉症患者の増加を受け調査を始めましたが、調査のためには花粉のデータが大量に必要となり、作業は手作業というのが従来の方法でした。そこで、AIを活用し作業の効率化を図ることを目的に研究を進めていきました。

結果、花粉の判別を94パーセントの確率で正解することが出来ました。これにより、大量の画像入手、分別が可能になることが期待できるが、まだ誤作動もみられるため改善の余地があると考えています。

有益な情報収集につなげられるよう研究していきたいです。



AIを活用したオオブタクサ花粉の判定

北杜市立甲陵高等学校SSH AI班

村松 紘武 氏 西咲 哉土 氏 柳本 悠輝 氏

どじょっかわビオトープクラブでは、甲州市塩山「塩の山」の北側麓にある畑や付属する用水路に、どんな生き物がいるのか、フィールドが持っているポテンシャルを知るための基礎的な調査を、専門家と東海大学付属甲府高校自然科学同好会の協力を得て、地域住民や愛好家と共に動き出し、様々な活動を実施しました。

生物相の豊かさを感じると共に、農業者の生き物への関心の希薄さを感じました。また、環境活動の収益性の低さ、生き物や環境の評価方法がどんどん新しくなっている昨今の情報を、無理なく自分の力量で扱っていけるのかが課題となっています。



環境教育の可能性を探る

どじょっかわビオトープクラブ

鶴岡 舞子 氏

生活協同組合ユーコープでは、自然を大切にする調和のある社会を目指し、事業と活動を通じて山梨県内の環境保全とユーコープの社会貢献を継続的に行っていきます。

活動の一部では、環境啓発イベントに出展し、ペットボトルキャップを使ったリサイクル工作の実施、そのほか清掃活動等も行っています。

今後はユーコープの取り組みを広く知ってもらい、多くの方に参加してもらえる取り組みにしていくことが課題です。



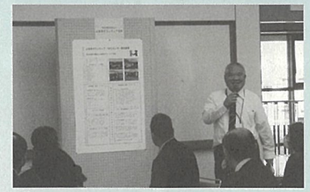
自然を大切にする調和のある社会

生活協同組合ユーコープ

有馬 淳一 氏

山梨県ボランティア協会では、富士川の河口クリーン作戦に参加をしました。山梨で流したゴミが、静岡方面に流れているという意識を持ちながら参加することで、環境に高い関心を持てるようになりました。

今後はこのような環境活動を認知していない方々へ、私たちボランティア協会が各団体で環境活動があることを広く周知し、より多くの方に環境活動へ参加してもらえるよう広報活動を行っていきたいです。



ボランティアセンター運営について

特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会

田辺 光正 氏

